

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立第三小学校 第6学年，全児童
実施児童数（15人）

4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び算数。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査
調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて下位層が少ない。
平均正答率（本校 76.7／泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて下位層がやや少なく、上位層が多い。
平均正答率（本校 70.0／泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>概ねできているもの、正答率が全国平均より高かったもの</p> <p>【言語に関する知識・理解・技能】 ◇漢字を読んだり、書いたりすることが概ねできていた。問. 1-(1)～(6) (平均87.8/81.3)</p> <p>【話すこと・聞くこと】 ○話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する。問. 7 (93.3/72.4)</p> <p>【書くこと】 ◇情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する。問. 3 (66.7/58.7) ◇「～たり、…たり」という表現に直して書く。問. 6一 (80.0/74.9) ・文のつながりを捉え、適切なものを選択する。問. 6二 (86.7/83.1)</p>	<p>課題があると思われるもの、正答率が全国平均より低かったもの</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 故事成語の使い方として適切なものを選択する。 ○五十歩百歩 問. 2一 (46.7/55.8) ○百聞は一見にしかず 問. 2二 (40.0/49.9)</p> <p>【読むこと】 ◇物語の一部に入る適切な人物の名前を書く。問. 5 (60.0/65.3) ◇新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する。問. 4 (66.7/71.7)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>概ねできているもの、正答率が全国平均より高かったもの</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○詩の表現の特徴として適切なものを選択する。 詩1 問. 3一(1) (100.0/80.4) 詩2 問. 3一(2) (86.7/59.2)</p> <p>【話すこと・聞くこと】 ○会議での司会者の発言の内容をまとめて書く。問. 1一 (86.7/65.2) ○会議での発言者の質問の狙いとして適切なものを選択する。問. 1二 (80.0/60.2)</p> <p>【書くこと】 ○詩1、詩2を比べて読んで、考えたことを書く。問. 3 (73.3/48.1)</p>	<p>課題があると思われるもの、正答率が全国平均より低かったもの</p> <p>【読むこと】 ◇科学読み物を読んで、疑問や発見を書いた付箋の内容を関係づけて、疑問文を書く。問. 2一 (66.7/71.9) ・科学読み物を読んで、疑問や発見を書いた付箋の内容を関係づけて、まとめの文章を完成させる。問. 2二 (33.3/26.9)</p> <p>【書くこと】 ○討論会での発言者と違う立場からの質問か意見を書く。問. 1三 (40.0/28.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好き	46.6	59.2	○	12.6
国語の勉強は大切だと思う	100.0	91.8	○	8.2
国語の授業の内容はよく分かる	66.7	80.1	○	13.4
読書は好き	86.7	73.0	○	13.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	93.4	87.4	◇	6.0
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている	80.0	61.4	○	18.6
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している	60.0	58.5		1.5
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている	73.4	70.7		2.7
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる	80.0	75.8		4.2
今回の国語の問題について、文章で答える問題に最後まで書こうと努力した	100.0	97.4		2.6

【学力状況調査より】

○A問題では、「漢字を読んだり書いたりすること」は概ねできている。また、話し合いの観点に基づいて情報を関係づける、「話し合いの記録の仕方として適切なものを選ぶ」という設問の正答率が高い。B問題では、二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることもできている。また、目的に応じて、話し合いの観点を整理することや、質問の意図を捉えることもできていた。

○A問題では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての設問、「五十歩百歩」や「百聞は一見にしかず」という故事成語の正しい使い方を選択する問題については、正答率が全国平均に比べてかなり低くなっている。B問題から、付箋に書かれた内容を関係づけながら疑問を捉えたり、分かったことや疑問に思ったことを整理しそれらを関係づけながらまとめて書いたりすることは苦手であることが分かる。

【学習状況調査より】

○国語に関する学習状況については、多くの項目で全国の肯定的な回答を上回っているが、「国語の勉強は好き」「国語の授業の内容はよく分かる」の回答結果は全国平均を大きく下回っている。このうち、「授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、国語B問題の正答の割合に近いことに気づく。

【まとめ】

○今回の国語の学力・学習状況の結果を通して、国語の学習が好きと答える児童が少ないのは、国語の指導のあり方についても課題があることを示している。しかし、子どもたちは、国語は大切な教科と捉えており、学力調査においても意欲的に取り組む気持ちが表れていると言える。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の分布状況は中間層（やや下位）と上位層の二極化の傾向が見られる。

平均正答率（本校 78.8／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・「A区分問題」と同様の分布を見るが、下位層にも広がった分布が見られ、全体としては平べったい形となっている。

平均正答率（本校 67.7／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>概ねできているもの、正答率が全国平均より高かったもの</p> <p>【数と計算】 ◇$1/3+2/5$を計算する。 問. 1(6) (100.0/90.6)</p> <p>◇図を基に1.2倍の長さに相当するテープの長さを求める式を選ぶ。問. 2(1) (80.0/71.91)</p> <p>【量と測定】 ○1cm^3の立方体を基に、示された直方体の体積を求める。問. 5(2) (93.3/81.1)</p> <p>【図形・数量関係】 ○正五角形の1辺の長さとおりの長さの関係を正しく表している式を選ぶ。問. 9 (93.3/82.0)</p>	<p>課題があると思われるもの、正答率が全国平均より低かったもの</p> <p>【数と計算】 ◇$2\div 5$を計算する。問. 1(4) (86.7/91.8) ・図を基に0.4倍の長さに相当するテープの長さを求める式を選ぶ。問. 2(2) (53.3/54.1)</p> <p>【量と測定】 ○$100-20\times 4$を計算する。問. 1(5) (66.7/80.9)</p> <p>【図形】 ○直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く。問. 5(1) (60.0/83.9)</p> <p>◇コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。問. 6 (40.0/52.0)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>概ねできているもの、正答率が全国平均より高かったもの</p> <p>【数と計算】 ・示されたかけ算のなかで積に同じ数字が並ぶものを選ぶ。問. 1(1) (93.3/94.6)</p> <p>○二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる。問. 4(2) (73.3/60.5)</p> <p>【量と測定・数量関係】 ○水の月別使用量をグラフ化するとき、枠に入らない月とそのわけを書く。問. 2(2) (86.7/69.1)</p> <p>○特定月の水の使用量が年間使用量の$1/4$より多いことを説明するためのグラフを選ぶ。問. 2(3) (80.0/61.5)</p> <p>【図形】 ◇畳の敷き方の約束を基に、残りの4枚の板を置いた図をかく。問. 5(1) (73.3/65.7)</p>	<p>課題があると思われるもの、正答率が全国平均より低かったもの</p> <p>【数と計算】 ○使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さ表している図を選ぶ。問. 5(2) (33.3/46.1)</p> <p>・身長を基に、使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く。問. 5(3) (46.7/33.0)</p> <p>【量と測定】 ・示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。問. 3(3) (53.3/30.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好き	86.6	66.1	○	20.5
算数の勉強は大切だと思うか	93.3	92.3		1.0
算数の授業の内容はよく分かる	66.7	79.6	○	12.9
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思うか	100.0	77.3	○	22.7
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	93.3	78.1	○	15.2
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	86.6	66.3	○	20.3
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか	93.3	89.0		4.3
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	93.3	79.4	○	14.0
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	80.0	81.3		1.3
今回の算数の問題で、言葉や式などを使って解答する問題には、最後まで書こうと努力した	100.0	79.7	○	20.3

【学力状況調査より】

○A問題での基本的な四則計算については、概ねできていると判断する。また、体積の単位(1 cm³)と測定についても概ね理解できている。さらに、正五角形の辺の長さと言の長さの関係を式に表す問題での正答率もかなり高い。B問題での、「最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述する」、「二人のリズムが重なる部分を公倍数に着目して記述する」ことについての正答率は高い。

○A問題では、「減法と乗法の混合した整数の計算」については誤答が目立ち、図形の領域で「円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる」、「作図に用いられる図形の約束や性質の理解」についての正答率は全国を大きく下回る。B問題からは、「示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することや、筋道をたてて考え小数倍の長さの求め方を記述する」ことが苦手であると言える。。

【学習状況調査より】

○学習状況については、国語と同様、全国平均を上回る肯定的な回答は多い。さらに、「算数の勉強は好き」と答える児童も多い。しかし、「算数の授業の内容はよく分かる」の回答結果は全国平均を大きく下回っている。国語と同様、「授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が算数B問題の正答率と似ている。

【まとめ】

○算数の学習状況調査から、『算数は大切な学習であり社会に出たときに役立つものであると捉え、人前で自分自身のことを述べるのはちょっと自信が持てないが、算数の授業中には、いろいろな解決法を考え、学習したことを取り入れようとする意識を持っている』、そんな6年生児童の姿が浮かび上がってくるが、このような意識が学力調査の結果にも反映していると考えられなくもない。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。また、状況を説明するために必要な項目については、全国との比較は考慮せずに挙げている。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	親子関係は概ねよく、家庭での問題が学校に持ち込まれることはあまりない。学習塾に行っていない児童の割合が全国を少し上回るが、塾に通う児童の生活時間の配分が就寝時刻に影響にしているようで、気がかりである。保護者は、学校に対して協力的である。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <73.3/79.2> ○学習塾で勉強している。 <46.7/47.9> ○テレビなどを見るのは1日2時間以内。 <46.6/38.0> ○1日にスマホや携帯を使うのは30分以下。 <80.0/74.5> ○保護者は学校行事に来るか。 <100.0/96.5>
【家庭学習の様子】	・家庭学習はきちんとできている。宿題を忘れる児童も少ない。課題を自分で決めて学習する「自主学」は積極的に取り組み、内容も多岐にわたる。「自主学」での課題設定に偏りのある児童も散見されるが、その都度の指導で修正できている。	○家で、学校の宿題をしている。 <100.0/96.5> ○家で、学校の授業の復習をしている。 <60.0/54.0> ○1日あたりの学習時間が1時間以上。 <53.4/62.0> <u>○家で、自分で計画を立てて勉強している。</u> <73.3/61.0> <u>○新聞を読んでいるか。</u> <46.6/27.1>
【学校での学習の様子】	・教室での学習については、意欲を感じる。二学期になって、意見発表が少なく感じることもあるが、単元のまとめテストや漢字テストなどには最後まで意欲を持って取り組む。実技教科も興味を持ち、取り組むが、体育は少し苦手である。休憩時間に運動場で遊ぶ姿はあまり見られない。	<u>○学校に行くのは楽しい。</u> <100.0/86.60> ○学校での決まりを守っている。 <100.0/90.5> ○「総合的な学習の時間」で課題を立てて、情報を集め、調べたことの発表に取り組んでいるか。 <73.4/63.8> ○400字の原稿用紙2～3枚に文章を書くのは難しいと思うか。（「思わない」と答えた割合） <40.0/36.6> ○授業中分からないことは、その場で先生に聞く。 <40.0/15.6>

本校の取組み

◎これまでの取組み

- ・校内研究…「自力解決できる児童の育成」をめざし、算数科の授業公開を中心に研究を継続、校内研究ワーキンググループに参加
- ・道徳教育ワーキンググループに参加
- ・朝学…始業前の12分間を活用
 - ・国語（漢字の読み書き中心）
 - ・算数（計算問題の繰り返し練習）
- ・放課後学習会（まなびんぐ）…3年生対象、算数の学習補充が中心、毎週月曜日に実施（参加率91%）
- ・漢字検定…6年生のみ、年間2回学校で実施
- ・自主学…各学年の実態に応じた取組み

◎これからの取組み

- ・上記の取組みを精査し、継続する。
- ・自主学…「家庭学習の手引き」（全学年）を作成し、保護者へ啓発する。その中で、「自主学」「家庭学習週間」について保護者の協力を要請する。
- ・基礎学力向上（計算力）…全学年で実態調査を実施、分析結果をもとに学力向上に向けた取組みを計画し実施していく。

《よく分かる授業をめざして ―本校の学力・学習状況結果から―》

・学習状況調査から、「授業の内容はよく分かる」と肯定的に捉えている割合が全国の平均よりも低いことが分かった。以下の点を重視し指導にあたることで、「よく分かる授業」を目指す。

【国語の指導に関して】

（読むこと）

- ・物語などの登場人物の人物像を捉え、相互関係を明確にしながらかく読むことの指導に重点を置く。

（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

- ・故事成語について興味を持たせ、その意味を調べて記録するなど先人の知恵や教訓に触れさせ、さらに実生活の中で意図的に活用する機会を意図的に設けるなどして計画的に指導する。

（書くこと）

- ・自分の考えを明確にし、意見や質問を書く機会を増やす。

【算数の指導に関して】

（数と計算）

- ・基本的な四則計算を丁寧に取り組む姿勢を養う。
- ・小数倍の意味を図と関連づけて理解する指導を充実させる。

（図形）

- ・作図においては、用いる道具の操作と、その意味とを関連づけて理解を深める手立てとする。
- ・問題解決にあたっては、見通しを立てたことよさを実感できるようにする。